

● 新指定答申文化財の概要

【種 別】有形文化財 彫刻

【名 称】寺田の石造地蔵菩薩坐像群（てらだのせきぞうじぞうぼさつざぞうぐん）

【員 数】3基

【所在地】伊賀市寺田字前坂1307番地ほか 大光寺、清正寺

【年 代】鎌倉～室町時代

【規 模】高さ約140 cm、幅約340 cm（北向三体地蔵）

【概 要】

伊賀市寺田地区に点在する3基の石造物です。1基は「北向^{きたむき}三体地蔵」と呼ばれる3軀の地蔵菩薩坐像が刻まれたものです。これらの石仏は、鎌倉時代から室町時代にかけて、様式を継承しつつ当地で制作されました。石造彫刻として秀麗であるとともに、この地で継続的に制作された一群の石造物として、文化史的な価値も高いものです。



寺田の石造地蔵菩薩坐像群（石造地蔵菩薩坐像、通称「北向三体地蔵」）